

令和6年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	⑤	学校名	奈良西養護学校
----	---	-----	---------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	地域とともにある学校づくり
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	専門教科に位置付けて、しごとの授業で実施。地域の保育園との直接交流や、地域ボランティアとの協働作業を通して豊かな人間性を育む。
連携・協働相手	富雄藍咲学園、富雄第三中学校区地域教育協議会
地域と共有している目標・課題等	(目標) 地域の各施設との交流を推進する。地域ボランティアを活用して、協働作業を進める。 (課題) 交流内容の精選や工夫の必要性。
取組・活動の内容(生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など)	
<p>(1) しごと「農場班」と地域の保育園との直接交流 本校高等部生徒が授業で栽培・管理したサツマイモを地域の保育園の年長児と協力して収穫した。</p> <p>(2) しごと「委託作業班」「農場班」と、地域ボランティアとの協働作業 地域ボランティアの方々と本校高等部生徒が、校内の清掃活動や除草作業などを地域ボランティアの方々と協力して実施した。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>(1) しごと「農場班」と地域の保育園との直接交流 10歳ほど年の離れた子どもたちに頼られることで、本校高等部生徒たちは自己有用感を高められたように見受けられた。収穫体験は定着しつつあり、一定の成果を上げることができるように思われる。次年度以降、収穫作業に加えてサツマイモ苗を植える作業を園児たちと協力して行うことも検討したい。また、保育園側にアンケートをお願いし、改善点や課題等を共有していきたい。</p> <p>(2) しごと「委託作業班」「農場班」と、地域ボランティアとの協働作業 協働作業を継続することで、地域ボランティアと本校生徒の関係性が深まり、学校での様子や卒業後の進路などを話す場面が見られるようになった。今後は、地域学校協働活動を行うにあたり、地域ボランティアと学校の連絡調整や人材の確保のため、活動全般をコーディネートされる地域学校協働活動推進員等の活用を前向きに検討していきたい。</p>

